

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO.	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会 計 区 分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
05010080	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B 基本施策（後期）を実現するために行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	広域紋別病院企業団運営事業		担 当 課	地域医療対策室	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	関係課	健康推進課	
事業指標	西紋別地区における二次医療機関の確保施設数	広域紋別病院事業団（雄武町他西紋4市町村）		国保病院・老健施設	
			数 値 目 標	1施設	

全 体 計 画 事 業 内 容				令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
本町が属する二次医療圏である遠紋医療圏のうち、西紋地区における二次医療機関となる広域紋別病院の運営主体である広域紋別病院企業団の運営経費及び職員の児童手当経費を、西紋別地区5市町村が共同で負担する。				・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担		・広域紋別病院企業団運営経費及び職員の児童手当経費の負担	
年度別数値目標				1施設		1施設		1施設		1施設		1施設	
		計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	10,000	2,580	2,000	1,408	2,000	1,172	2,000		2,000		2,000	
合 計 (千円)		10,000	2,580	2,000	1,408	2,000	1,172	2,000	0	2,000	0	2,000	0
特 定 財 源			評 価 ・ 実 績	実施内容	広域紋別企業団に対する負担金の支出	広域紋別企業団に対する負担金の支出							
					※簡素化対象事業								
				評価結果	A－継続／現状維持		A－継続／現状維持						

事業名	広域紋別病院企業団運営事業	評価者 管理職 職氏名	地域医療対策室長	渡邊 夕喜
		評価者 作成者 職氏名	地域医療対策室次長	川口 敦史

令和6年度実施
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	西紋別地区における二次医療機関の確保施設数	
抱える課題やニーズ		指標（指標計算式／解説）	
どのような状態になることを目指したのか（意図）	①	西紋別地区における二次医療機関の確保施設数	目標年度 令和6年度
			目標値 1施設
その結果、どのような成果を実現したいか※成果＝目的	②		実績値 1施設
			達成度 100.0 %
内容（どのような手段で何を行ったか）			目標年度 年度
			目標値
			実績値
			達成度

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

	☐	義務的なもの
必要／概ね必要	☐	全部
／課題あり	☐	一部

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

	設定した目標値の達成状況
	☐ 達成
有効／概ね有効	☐ ほぼ達成
／課題あり	☐ 下回る

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか）

	判断の理由
	☐ 事業費抑制
	☐ 人員削減
効率的／概ね効率的	☐ 時間短縮・作業軽減
／課題あり	☐ その他

（4）事務事業の公平性

	判断の理由
	☐ 受益者負担がある
	☐ 受益者負担がない
公平／概ね公平	☐ 受益が一部に偏る
／公平でない	☐ その他

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

- A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持		

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第 6 期 雄 武 町 総 合 計 画 後 期 実 施 計 画 書

事業NO,	政策目標	2 安心感の持てる福祉のまち・雄武 保健・医療・福祉の充実	会 計 区 分	一般会計	全体計画（後期実施計画期間外の期間を有する場合のみ）
05010110	基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	A 地域力の向上（活力・生産・協働）のために最優先して行うべき事業	
	単位施策	5 地域医療の確立			
事業名	地域医療環境整備事業		担 当 課	地域医療対策室	
事業期間	令和5年度～令和9年度	事業主体	雄武町	健康推進課・地域包括支援センター	
事業指標	地域医療確立のために必要なる環境整備に関する各種調査・検討件数		数 値 目 標	1 件～4 件	

全 体 計 画 事 業 内 容				令和5年度 事業内容		令和6年度 事業内容		令和7年度 事業内容		令和8年度 事業内容		令和9年度 事業内容	
本町における持続可能な医療提供体制の確立や地域包括ケアの実現に向けた環境整備に必要な制度等について調査・検討を行う。				各種調査・検討		地域医療状況調査・検討 開業医誘致の制度設計 地域医療機関の支援制度の検討 地域医療連携の調査・検討		地域医療連携の確立 地域医療機関に対する支援 開業医誘致の周知啓発		地域医療連携の推進 地域医療機関に対する支援 開業医誘致の周知啓発		地域医療連携の推進 地域医療機関に対する支援 開業医誘致の周知啓発	
年度別数値目標				1 件		4 件		3 件		3 件		3 件	
		計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費	計画事業費	実績事業費
財 源 内 訳	国庫支出金	0	0										
	道支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他	0	0										
	一般財源	8,100	1,000			2,000	1,000	2,100		2,000		2,000	
合 計 (千円)		8,100	1,000	0	0	2,000	1,000	2,100	0	2,000	0	2,000	0
特 定 財 源			評 価 ・ 実 績	実施内容	町内医療機関及び歯科医院に対するヒアリング実施 （課題抽出）	地域医療状況調査・検討 開業医誘致の制度設立 地域医療機関の支援制度設立 地域医療連携の調査・検討 医療連携協定の締結 町内 1 医療機関へ支援実施							
					評価結果	A－継続／現状維持							

事業名	地域医療環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	地域医療対策室長	渡邊 夕喜
		評価者 作成者 職氏名	地域医療対策室次長	川口 敦史

令和6年度実施
令和7年度評価

■事務事業の目的・内容（Plan・Do）

誰、何が（対象）	医療提供を求める町民		望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）	町内医療機関に対するヒアリングの実施（課題抽出）	
抱える課題やニーズ	町内の持続可能な医療提供体制の確立及び地域包括ケアシステムの実現に向けた環境整備			指標（指標計算式／解説）	
	どのような状態になることを目指したのか（意図）	町内医療機関の持続的な存続	①	地域医療確立のために必要なる環境整備に関する各種調査・検討件数	目 標 値 及 び 実 績 値
目 標 年 度					令和6 年度
その結果、どのような成果を実現したいか ※成果＝目的	町民が安心して、生活できる医療体制の構築	②		目 標 値	4 件
				実 績 値	6 件
				達 成 度	150.0 %
				目 標 年 度	年度
内容（どのような手段で何を行ったか）	地域医療状況調査・検討	各種施策の資料とするため、町内医療機関等に対するヒアリングや近隣や道内市町村の施策などの調査を実施し、現状把握等を行った。			
	地域医療の確保	雄武町開業医誘致等促進条例及び同施行規則を制定し、町内の民間医療機関に対し雄武町医療機関支援助成金の交付を行い、地域医療の確保			
	医療連携協定の締結	町内外の医療機関と連絡調整を図り、循環器専門医院と医療連携協定を締結した。			

■事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要	☐	義務的なもの	地域包括ケアシステム構築のための医療体制の確保は、自治体の責務である。
必要／概ね必要		☐ 全部	
課題あり		☐ 一部	

（2）事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効	設定した目標値の達成状況		令和5年度の町内医療機関ヒアリングによって抽出した課題に対する制度設計、施策の実施、また、医療連携協定の締結など期待以上の効果が得られた。
		☒ 達成	
		☐ ほぼ達成	
有効／概ね有効		☐ 下回る	
課題あり			

（3）事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか）

効率的	判断の理由		事業費に見合った効果が発揮できるよう、制度設計には十分な検討を重ねた。
		☐ 事業費抑制	
		☐ 人員削減	
効率的／概ね効率的		☐ 時間短縮・作業軽減	
課題あり		☒ その他	

（4）事務事業の公平性

公平	判断の理由		町内の医療体制の確保や維持、存続は、全町民の利益となるため公平である。
		☐ 受益者負担がある	
		☐ 受益者負担がない	
公平／概ね公平		☐ 受益が一部に偏る	
／公平でない		☒ その他	

■その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

■総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B：ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
支援施策を制度化、運用を開始するなど、計画どおりに事業が進んでおり、今後も計画に沿って事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向 (Action)			
継続／現状維持			
継続的な支援のほか、必要に応じたヒアリングなどを実施し、随時発生する課題の解決のほか、地域医療を維持推進する施策等を適宜検討、計画していく。			

※展開方向の区分
○継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止